

平成 21 年 5 月 14 日

会社名 小倉クラッチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小倉康宏
 (J A S D A Q ・ コード 6 4 0 8)
 問合せ先 常務取締役 河内正美

業績予想の修正、固定資産の減損損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 13 日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成21年2月13日発表) (A)	43,000	1,340	2,550	3,550	236.57
今回発表予想 (B)	41,749	658	1,846	2,803	186.81
増減額 (B-A)	1,251	682	704	747	
増減率	2.9%				
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	49,529	548	214	626	41.75

(2) 平成 21 年 3 月期 通期個別業績予想値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成21年2月13日発表) (A)	30,700	890	1,400	2,350	156.60
今回発表予想 (B)	30,396	486	997	1,799	119.94
増減額 (B-A)	304	404	403	551	
増減率	1.0%				
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	37,597	591	314	243	16.24

(3) 修正の理由

(通期連結)

米国のサブプライム問題に端を発した世界的金融危機は、国内外の景気を急速に悪化させ、自動車販売の大幅な減少という厳しい事態となりました。当社のカーエアコン用クラッチもユーザーからの受注が下期は大幅に減少し、大幅な減産、売上減少となりました。その結果、売上高は前回予想よりさらに

12億51百万円の減少となりました。

このような環境の中、当社グループとしては原価低減・経費削減等を進め、営業利益は前回予想より6億82百万円改善されましたが、売上高の大幅な減少による収益の悪化は避けられず、6億58百万円の営業損失に、経常利益は為替差損が前回予想より2億97百万円減少し、損失が7億4百万円減少の18億46百万円の経常損失になります。特別損益では前回予想した米国子会社の3億円の減損損失等が避けられましたが、当社の遊休土地等の減損損失1億円が発生し、また、収益低下による繰延税金資産2億95百万円の取り崩し等があり、当期純利益は前回予想より損失が7億47百万円縮小して28億3百万円の当期純損失となる見込みであることから業績予想を修正いたします。

(通期個別)

通期個別につきましては、売上高は前回予想より3億4百万円の減少となりましたが、原価低減・経費削減等を進めました結果、営業利益は前回予想より4億4百万円改善され4億86百万円の営業損失に、経常利益は為替差損の減少もあり4億3百万円改善の9億97百万円の経常損失に、当期純利益は中国無錫の子会社株式の減損処理が回避されましたが、遊休土地の減損等が発生し、当期純利益は前回予想より損失が5億51百万円縮小した17億99百万円の当期純損失となる見込みであることから業績予想を修正いたします。

2. 固定資産の減損損失の発生

当社の所有する土地が時価を下回っているため、特別損失として減損損失95百万円、遊休機械設備として6百万円を計上する予定です。

以上